



広島別院明信院

報恩講

宗祖親鸞聖人は、1262（弘長2）年11月28日に、90歳の生涯を終えられました。親鸞聖人をはじめ、念仏の教えに生きられた先達に思いをいたし、その恩徳に感謝し報いるためのお勤めが報恩講です。お念仏の教えを聴聞し、自分の生活を振り返る、一年でもっとも大切な御仏事として全国各地の寺院・教会をはじめ、ご門徒の家々でも勤められており、「お取越し」や「お引上」の名でも親しまれています。

このたび、広島別院明信院報恩講を下記のとおり勤修いたします。
つきましては、お誘い合わせのうえ、ご参詣くださいますようお願い申し上げます。

記

期 日 12月6日（水）～7日（木）

日 程 12月6日（水）

14：00 お逮夜

法話

16：30 初夜 引き続き 御伝鈔（下巻）

18：00 終了予定

12月7日（木）

8：00 晨朝

法話

10：00 日中

法話

12：30 終了予定

講 師 安 本 浩 樹 師（安芸北組 専光寺住職）

以上